

ASAGAO通信



ポーランドの最新情報を現地からお届けします

SEPTEMBER 9, 2020, ISSUE 24

<https://asagao.pl>
info@asagao.pl

コロナウイルス新規感染者増える中、 保健大臣辞任

今号ではヨーロッパ各国の中でも早期対策を行い感染者を抑えたとして評価された、ポーランドのコロナ対策を牽引してきたシュモフスキ保健大臣の辞任についてお伝えする。

○ウカシュ・シュモフスキ氏経歴

心臓専門医、心臓電気生理学者、医療科学教授
経歴

- ・ワルシャワ医大卒業
- ・2016年11月科学高等教育省の国務次官就任
- ・2018年1月保健大臣就任、ポーランド共和国下院9期目の議員就任
- ・2019年Płocki選挙区で3万5000票以上を獲得

○保健大臣として行ってきたコロナ対策

3月4日の会見でポーランド初の新規感染者を報告してから、シュモフスキ氏は医師としての専門的知識を活かし様々な策を講じてきた。早期のロックダウンや入国制限実施といった水際対策が功を制し、ヨーロッパの中では比較的感染者を抑えることができたとして評価されている。また、コロナ感染確認前もリモートワークの推奨や託児所等を利用できなくなった子育て世代のための追加手当に関する法案をも作成した。

○次期大臣は…

8月21日にポーランドでは感染者確認以降最多の903件もの新規感染者が確認された。パンデミックが始まって以来7万人超の感染が確認されており、依然予断が許されない状況が続いている。手腕が問われるこの非常事態下で保健大臣に就任したのは、ニエージェルスキ氏である。前職は国立保健基金(Narodowego Funduszu Zdrowia)代表であり、専門は経済学と定量法・情報システムであるという。

9月3日にはニエージェルスキ氏が新型コロナウイルス対策を発表した。会見で同氏は、現在の国家規模の政策から地域ごとの状況に焦点を当てたものへシフトしていくと述べた。また、今回の会見では「検査」と「3つのセキュリティレベル」の導入が発表された。

一方、前職のシュモフスキ氏は医療現場を支えたいという意思を表明し、心臓専門医として現場に復帰しつつ議員としての活動はそのまま継続する。

小中高で通常授業が再開されてから一週間以上が経つ今、今後のコロナ対策を注視していく必要がある。

ポーランドを世界に、そして世界をポーランドに連れて行く

Poland Today

2012年にワルシャワにて創業。雑誌、ウェブ媒体、映像、イベントを通じて、ポーランドの情報を幅広く伝えるメディア。「ポーランドを世界に、そして世界をポーランドに連れて行く」ことを理念として掲げ、ポーランド人と非ポーランド人がチームを組み、英語での記事執筆にあたっているようだ。その記事のテーマは多様で、経済・ビジネス情報に軸を置きつつも、歴史・芸術・スポーツに関しても幅広く取り扱われている。

POLAND TODAYが発信する情報は、ポーランドを拠点とする国外移住者は約20万人でポーランド語を話せない方に重宝されている。

記事執筆にとどまらず、ビジネス関係のカンファレンスやイベントも定期的で開催している。これらを通して築いた、さまざまな業界・国籍のビジネスリーダー、投資家、政策立案者、外交官、オピニオンフォーマとの繋がりが同社の強みである。

